

導入事例：IMAGICAコスモスペース様

4K/6G-SDI/24P対応大型中継車にリーダー電子の最新鋭機材を採用

～ クリエイティブとテクノロジーの融合で映像の未来を切り拓く ～

はじめに

1978年の創業以来、企画制作から放送局内の各種技術業務、中継、撮影、編集、MAまで、一貫した映像制作体制を構築してきたIMAGICAコスモスペース様。2024年12月には社名を新たに、総合映像サービス企業として更なる事業拡大と映像の価値創造を目指されています。

「いつまでも夢を持ち続け、多くの人々に“素晴らしい映像”をもって“驚きと感動”を伝え続ける企業でありたい」

IMAGICAコスモスペース様は、この創業の思いを胸に、常に進化を続け、映像業界の未来を切り拓く挑戦を続けています。



4K/6G-SDI/24P対応大型中継車導入の背景

近年、スポーツ中継に加え、エンターテインメントやライブ配信など、映像コンテンツの需要は多様化の一途を辿っています。IMAGICAコスモスペース様は、こうした市場の変化を捉え、4K/6G-SDI/24Pに対応した大型中継車を新たに導入しました。

この中継車は、4Kネイティブ24Pに対応した日本初の車両であり、従来の放送にとらわれない、より高品質な映像制作を可能にします。また、制作環境の拡充も図り、ゆとりある空間を実現しました。

リーダー電子の最新鋭機材が支える高品質制作

今回の大型中継車導入にあたり、IMAGICAコスモスペース様はリーダー電子の波形モニターLV5600W、ラスタライザーLV7600W、シンクジェネレーターLT4670、チェンジオーバーLT4448を採用しました。

これらの機材は、4K/6G-SDI/24Pといった最新フォーマットに対応し、高品質な映像制作を強力にサポートします。

導入製品

- [波形モニター：LV5600W](#)
- [ラスタライザー：LV7600W](#)
- [シンクジェネレーター：LT4670](#)
- [チェンジオーバー：LT4448](#)

関係者からのコメント

IMAGICAコスモスペース 制作技術本部 副部長 大島 草太様

「弊社は1978年の創業以来、企画制作、放送局内の各種技術業務、そして中継、撮影、編集、MAに至るまで一貫した映像制作体制を築き、様々なお客様のニーズにワンストップでお応えできる総合映像サービス企業として幅広い事業活動を展開してまいりました。今回の4K/6G-SDI/24P対応大型中継車の導入は、映像制作における新たな挑戦であり、リーダー電子さんの最新鋭機材とともに、お客様に更なる高品質な映像をお届けできると確信しております。

約10年前はスポーツ中継が中心でしたが、現在はエンターテインメントやライブ配信にも力を入れています。今回導入した中継車は、4Kネイティブ24Pや6G-SDIに対応しており、他社にはない大きな強みで

す。リーダー電子さんの機材はコンパクトながら高性能で、中継車のスペース効率にも貢献してくれました。」

IMAGICAコスモスペース 制作技術本部 チーフ/VE 児玉 大輔様

「もともと大型中継車を持っていなかったのですが、他社の大型中継車に乗ると、リーダー電子さんのラスライザーのスタイルだったこともあり、今回導入を決めました。外部のスタッフさんを呼ぶこともあるので、なるべく使いやすいものにしたかったというもあります。使い慣れている機材の方が、オペレーションもスムーズに進みますから。オプションのSER26を購入しているので、ピクチャー、波形、ベクターなどを自由なサイズや配置にカスタマイズできるのも良いですね。ラスライザーLV7600Wは外部の大型モニターに出力して画面で見られるので、中継車という狭いスペースでも見やすいですし、撮影内容によってレイアウトを変えています。例えば、サッカー中継などでは、4つの波形を並べるレイアウトにして、明るさなどを確認しています。」



制作技術本部 副部長
大島 草太様

制作技術本部 チーフ/VE
児玉 大輔様

今後の展望

IMAGICAコスモスペース様は、今回の大型中継車導入を機に、4K/6G-SDI/24Pコンテンツの制作を強化し、エンターテインメント、ライブ配信、スポーツ中継など、幅広い分野で高品質な映像を提供していきます。また、IP化やリモートプロダクションなど、次世代の映像制作技術の導入も視野に入れ、常に時代の最先端を走り続ける企業を目指されています。

中継車内の様子



リーダー電子株式会社

本社営業部 営業企画ユニット：深川浩一

TEL.045-541-2122 E-mail : sales@leader.co.jp